

想 創 表

第30号

平成24年03月30日

発行人 荒川輝男

編集人 林 直輝

〒536-0013

大阪市城東区鳴野東 3-18-5

社会福祉法人そうそうの社

Tel 06-6965-7171

Fax 06-6167-2622

———福島原子力発電所事故を考える。———

理事長 荒川 輝男

当法人は、政治や宗教に関しては中立的な立場で臨んできたが、今回の福島原発事故に関しては、法人としての意見表明をしておかなければ将来に禍根を残すだろうという思いである。もちろん今回の事故は、政治や宗教とは直接に関係がないが、日本の社会構造の中で政治的な動きがからみ原子力発電という大きな利益構造を利用してきたことが問題の根源に繋がっているものである。

更に、原発立地自治体は原発の交付金等や雇用等で一見潤ってきたような錯覚があるかも知れないが、今回の福島原発事故の結果、国策の犠牲にされ利用されてきただけで本当の意味で自治体住民の利益にはつながっていなかったことが証明された。

3.11以降、我々素人がびっくりするほど多くの原子力専門家といわれる人が登場したこの期間は、何が本当の情報なのか解らない。また本当に知りたい情報が出てこないなど、所謂御用学者ともいべきか、何をもっての専門家かと混乱してしまった。また東京電力や政府関係者がマスコミを通じて様々な情報を出してはきたが、ほとんどが自己の利益や保身のための方便としか受け取れない状況であり100%の情報開示はなされなかった。特に放射能汚染による避難者が混乱の極みとなったのは、スピーディといわれるものの存在や情報操作に関しては国民にはすぐには開示されなかったことが大きな問題を残した。

この流れの中で、日本国民には本当のことは知らされずに、原発が地球温暖化対策の旗手としてもはやしてきたマスコミも大きな過ちを犯してきたことは真摯に反省するべきであろう。

また、この冬は関西においても電気予報なるものがマスコミからも流され、節電が叫ばれている。これは、原子力推進あるいは原子力発電所を維持するための巧妙な作戦にしか過ぎないことであるというのはすでに暴露されている。

このように住民の不安感を煽ることで原子力の必要性を植え付けているに過ぎない。ただし、簡単に代替エネルギーに替えれるかという様々な法規制の問題がある。例えば送電線の使用に関してもすぐに変更というのは困難だということである。これこそ法律の改正などの手順云々や利益が保障された電力会社の保護ではなく、政府が超法規的に迅速に決定すべきであろう。

今回の事故を受けて、私自身放射能汚染の問題については全くの無知であり原子力発電所の問題も遠い他人事でしか見てなかったことが解った。電力会社は、経費についてはすべて電気料金に上乗せできる。その結果、全く競争力が働かず、利益を独占できる構造になっているそうである。

このような独占的利益体質は、電力会社も含めて政治家や国の責任が問われるべきだし、我々国民も正しい認識で監視し、原子力発電 NO といえる我々にもできる市民運動を展開していかなければならない。

また、冷静な視点で考えれば、我々国民全体が電気のある便利な生活が当然のこととして、電気に依存してしまった生活スタイルを見直すべき時期に至っているのである。今回の事故を受け我々は、依存しすぎていることさえ気づかずに電気が空気のような存在としてしか考えていなかったことがよく解る。

今回の福島原発事故で被害にあわれた福島県の皆様にはより早く故郷に帰れるように願うことと、我々一人ひとりの国民が正しい認識を持って原子力発電の問題に対峙していかなければならない。

*参考文献

「原発のウソ」 京都大学原子炉実験所 助教 小出裕章 扶桑社新書
「原発の闇を暴く」 広瀬 隆・明石 昇二郎 集英社新書

●お知らせ

当法人の被災地支援は、23年12月から第3期目を再開しています。被災地障害者センターみやぎの県北支部（登米市）にスタッフを派遣しています。

この間、震災から1年が経ち南三陸町では少しずつですが、全体の復興と共に地元の方々を中心に障害者福祉の資源の創出に向けた動きが出てきています。

ゆえに、今回も被災地派遣特集としました。毎回文字ばかりで読みにくいというお小言も頂戴していますが、我々の被災地支援に対する思いとして読んでいただけるようお願いいたします。内容に関しては、誤解を受けるような表現もあるかと思いますが県北支部の現地スタッフは毎日一生懸命に試行錯誤して取り組んでおられます。また他の団体や事業所についても前向きに取り組んでおられます。しかし地震の影響があまりにも大きく影を落としています。このような前提でそうそうの杜のスタッフが感じたまま見たままを表現していますが表現の稚拙さもありますのでご了解ください。

今回は、冒頭に被災地障害者センター県北支部スタッフ太齋さんのお便りを紹介します。

南三陸から

被災地障がい者センターみやぎ県北支部 太齋京子

震災から1年が経とうとしています。南三陸町では瓦礫の撤去や道の修復が進みました。主要道のガードレールや信号機も設置されつつあり、曲がり角には太陽光発電の電灯、夜間の通行もだいぶ楽になりました。荒野になってしまった旧市街地には仮設店舗がちらほらと建ち、志津川地区や歌津地区では仮設商店街も始まりました。昨年秋には漁業が再開されて養殖ブイも増え、今はわかめ漁が最盛期を迎えようとしています。復興は確実に進んでおり、私たちにも穏やかな時間が戻りつつあります。あの日のことやその後の怒涛の日々なんてこのまま忘れてしまえたらなあ、遠い目になることがあります。でも、目の前の景色は明らかに違う現実。震災から1年経った今、震災のことは頭の隅に置いておくことも必要なのかもしれないと感じています。これからの生活を積極的に創りあげるために。

当時私は中学校で働いており、あの日は翌日の卒業式の準備をしていました。そろそろ6時間目も終わっちゃうな、今日は放課後も準備かなと、ちょっと憂鬱な気分が生徒たちと作業をしていると、揺れが来ました。

その最初は、突き上げるとか突然とか驚くものではなく、「またか」と思ったのを覚えています。その二日前の昼にも同じような地震があったからです。でもまあ、生徒達もいるし、マニュアルどおり机の下に潜るかなというくらいの軽い気持ちでした。でも、揺れはなかなかおさまりませんでした。揺れ幅が小さくなって、そろそろ終わるかなと思うと、またグワングワンと。それは、木の枝を揺らすようなものでなく、大木の幹を移動させるような、力強い揺れでした。そういう大きな波が2、3回、全部で3分くらいあったでしょうか。学校の重い防火扉が閉まる音が耳に残っています。ただ事ではないとの警鐘。すぐに脳裏をよぎったのは、その数週間前にニュージーランドであった地震での建物倒壊。何より「校舎から出なくちゃ！」と思いました。そして、動けないという大きな生徒を担いで、2階から校庭へ。火事場の〇〇力ってホントです。

中学校は山の上だったので、とりあえず校庭で待機していました。町中に大津波を告げる防災無線の声が聞こえており、避難してきて心配そうに眼下を眺める町の人が増えていきました。そうこうするうちに、中学校のすぐ下にある小学校からも多くの人々が逃げてきて、なぜ？と思ったのです。小学校も避難所の一つで海拔15mくらいある高台ですから。でもその後、津波はそこまで来たのです。一步間違えは大惨事でした。絶対大丈夫はないのです。普段から、少しでも早く少しでも高く逃げるという心の準備と、自分で判断するという覚

悟を心がけておかねばならないと実感しました。

その後、「山へ登れー！」という誰かの大きな声がして、皆で一斉に裏の山へ登りました。私は支援学級の子供の背中を押して最後の一团で上へたどり着きました。そこで初めて眼下を見ました。町が、海でした。大津波というのは、サーフィンをするような大波を思っていました。でもそれは違いますね、あれはほんのプロローグ。津波は、波でなくて、海。線でなくて、面。もっと地球の本体で、地味に、確実に、破壊するものです。遠くを見ると、まっくろの海の上、彼方まで白浪が順番待ちしていて、次から次へとこちらへやってきます。近くの斜面を見ていると、水が少し引いたかなと思うと、またやってきて、さっきよりもっとやってきて、3歩下がって5歩進む、水が山を登っていました。

想像を絶する自然の驚異を目の当たりにして呆然として、次の瞬間に思ったのは、家族のことでした。私の職場から子供たちが通う小学校へは車で15分、主人の職場はさらに向こうへ10分の場所です。心配で心配でたまりませんでした。特に、時間的に下校していたであろう娘が。でも携帯は圏外、道路は寸断、連絡の取りようがありませんでした。それに、目の前には不安げな生徒達。避難に来る人はどんどん増えていきました。

その後、吹雪がひどくなったのと、とりあえずの安全が確認されたので、中学校の体育館へ戻りました。そしてそれからは、後から後から避難してくる人のために動きました。中学校には緊急用の物資が備蓄されていたので毛布やカイロを配ったり、学校内の水を給水器に入れて麦茶を作ったり、炊き出しの準備をしたり、生徒達が技術の授業で作ったダイナモ、使えるのを集めたり。ダイナモは、携帯の充電にとっても役にたっていました。結構ちゃんと動いて「えらいぞ！」と笑顔が出ていました。そのダイナモを握って、一晩中ハンドルを回し続けている生徒がいました。「やってるほうが、落ち着く」と。そう、することがあるのは、嬉しかったです。動いてないと、考えるのは悪いことばかりで。

夜。心がずっとザワザワしていました。一睡も出来なかったのは、寒かったからだけじゃないです。それは、避難所にいたみな、きっと同じ思いだったと思います。夜9時頃、炊き出しのおにぎりをいただきました。芯が残ったあつあつのおにぎり。さぞ熱かったことでしょう。握ってくれた人の温かい気持ちが、本当に本当に美味しかったです。

家族の安否確認が出来ない私を気遣って、一人の先生が気晴らしに校庭へ誘ってくれました。外では地区の人でしょうか、数人の男性が夜通したき火をしていました。火の光、真っ暗闇のオレンジ、温かかった。でもそのすぐ脇、眼下には吸い込まれそうな闇が広がっていました。そして。そのまま顔を上げたら満天の星空が。驚きました。美しく、静かで、大きくて、悠久で。なんと平和なんだろうと思いました。震災当日のことで一番鮮やかに覚えているのは、

この星空かもしれません。

あの日からやがて1年。津波現場を歩くのも、だいぶ慣れました。景色を見慣れたというだけでなく、地震や津波への対処法、連絡方法など、有事への心構えが備わったからもあるでしょう。非日常の上滑りな気



分も、だいぶ落ち着きました。やっぱり情報や準備は大事ですし、噛みしめる時間も大事。こうやって、暮らしが板についていくんですね。

でもまだまだ生活は困難です。特に南三陸では、まだ物の調達や移動で苦労します。仮設はだいたい高台にあるので坂の上り下りという障壁が加わっていますし、買い物も車を運転出来る人は買って来れますが、そうでない人達は、JRの再開も不透明で少ないバスを頼る不自由な生活を送っています。また、仮設住宅ではコミュニティの構築に苦慮しているとも聞きます。このようなちよとした不自由が、積み重なって大きなため息になっていくのですよね。それを少しでも和らげることが出来ればと、私達は日々活動しております。

障がい者福祉初心者の私達が、障がい者支援に携わって約半年。震災直後からそうそうの杜の方々は現地に入ってくださり、実際の細かい支援に加えて、私達へのアドバイスもしていただいております。また、来てくださった方々だけでなく、その貴重な人材がこちらへ抜けた後をカバーしてくださっている他のスタッフの方々にも、大変なご苦勞をかけていることでしょう。皆さんには心から感謝しております。本当にありがとうございます。

お話をお聞きする中で、大阪では多くの障害者の人々が生き生きと活動していると知りました。そして、南三陸が障害者福祉に関しては後進地域であるということも。私たちは、この圧倒的な地域差を埋めるような活動をしたいと思っています。具体的には、社会資源が段違いに少ない南三陸町で、障害者の日中活動の場を提供すること、行き場所がなくて在宅を余儀なくされている障害者の人達の選択肢を増やすことを目指して、活動を広げたいと思います。これからも出来ることを少しずつしながら、将来的な展望を探っていくつもりです。3人寄れば文殊の知恵、古の言葉を信じて。

町には依然として瓦礫の巨大な山があります。散らばっていたものを寄せて、

建物の3階くらいになっています。一次置き場でしょうが、行く先の決まらない山。これは相変わらず異質で、でも紛れもない現実で、夕日にそびえ立つ姿には涙が出ます。と同時に、ああ、ここで生きていくんだと、身を引き締められています。もうすぐ春が来ます。津波の現場は緑で覆われ、また生命の色に溢れた景色になります。その勢いに押されて、私達も前へ進んでいきたいと思えます。よちよち歩きな私達ですが、今後ともなにとぞよろしくお願ひします。

●巻末に石巻・県北支部の機関誌「によつきり」を1～2ページのみ掲載(同意をもらってます)



スタッフ派遣報告集

以下は、第3期の派遣を再開しましたのでその現場からの報告です。3月までの途中経過

* 語句の説明

たすけっと＝仙台市内にある自立生活センター。被災地障害者センターみやぎの事務局
登米　＝被災地障害者センターみやぎの県北支部(登米市内にあり南三陸町の西側)
石巻　＝被災地障害者センターみやぎの石巻支部

……………報告者:白石……………

12/12

登米に入る前に仙台たすけっとに寄り、話をしました。

冬場での活動は難しい事もあり、今はゆっくり小休止といった感じ。そもそも登米は2～3年かけて形になればというスタンスです。せっかくお風呂ができて告知もまだのよう…。私も知っている身体の方のケースで、仮設の湯船には狭いため入れず現状寒い中家族介助のシャワー浴のみ。せっくなので私がいる間に使ってもらえれば介助手伝えますよ。と伝えると家族に電話してみようかとしてくれるといった感じ。

こちらだけが焦っても仕方がないので、この様に気づけば形になったというのをこちらから意図的に作らないと進まないかも…。送迎、レスパイト等で予定が埋まっているようです。ゆっくり様子をみたいと思います。

12/13

今日は午前と夕方に予定していた、Yさんの送迎は体調不良のためキャンセル。昼からは、保健師から以来を受けた精神の方の引越しに行きました。もうすでに本人さんも新居に移転しており、洗濯機と自転車を運ぶのみでした。

このケースはセンターとしての関わりは無く、初めて出会うケース。帰りの車中、保健師さんより本人を買い物に連れていってもらえる事は可能か？という話がありました。車を使わずに行ってほしいとの事(車で連れていくと自分から出かける意欲は無くなるから)だったが帰ってきてから道路事情を考えたら、難しいのではと話をしていた。

初めてのケースで、しかも男性との事で少し気構え気味の様子。精神障害者との出会いや経験のなさからやや引け気味の印象を受けた。私が無理に引き受けても良かったが帰ってしまっただけからは、スタッフで関わらないといけないのでそれも無理にはできない。

私達がいる間に一緒に出会い対応等を少しずつ伝えていかなければならないと感じました。

* コメント

県北支部のスタッフは、地元の人を雇用しているのに障害への対応のノウハウを全く持っていない中で障害者支援に携わっているのに、自閉症圏の知的障害者や精神障害者についてはいついつい尻込みしてしまうところがある。このような事態に対して我々がボランティアとして継続しながら支援のノウハウを伝えていく必要がある。

12/14

今日は、活動としては、活発ではありませんでした。しかし、復興に向け我々の望む形に近づいていると、実感できる場面に出会えました。静かではありましたが、力強く確実に進んでいます。いろいろな人達同士の出会いでこれから南三陸は動きます。嬉しくて、身震いし、涙がでるかと思いました。

予定に入っていた、Hさんの送迎が無くなりました。なので、Aさんの送迎のみになりました。

SKさんが来られたのは、おもちゃを預かって欲しいということ、NPOの立ち上げについて相談したいとの事でした。実は、SKさんは5月くらいから某所より活動の為に建物をあげるという話があったそうです。しかし土地は現地で用意するという話だったそうです。Sさんとしては、震災の被害を受けた人達のコミュニティの場所(障害のある方、高齢の方、移民の方達の為)として一時的な場所を考えていたそうです。なのでプレハブで建て、その後の事は考えていなかったとの話です。その為に土地も探していたそうです。しかし、建物を提供する側からプレハブではなく、建てるならログハウスを建ててくれという話なので土地から探し直し、ようやく見つけた。しかし、Sさんとしては、想定外が2点。1点は、建物をあげるがその後の運営を頼まれる。もともと震災被害の為にコミュニティ作りと考えていたので事業としては考えていない。2点目は1点目に近いものになるが、個人ではなくちゃんとした団体に提供したい。これは相手側の実績のため。その為にNPO法人を立ち上げることが条件。

センターへの相談は、これをゆめ風のもとに、一緒にできないかという話。なぜなら、事業となるまでのSKさんは経験も知識もないか

らとの事。SKさんが出会った方から、児童デイをやらないかと持ちかけられているよう。これも検討の一つにしている様子。そうそうの杜としては、昨年4月から入っているがこういう風に具体的に地元の人からあれがしたいというのを待っている。こちらから、いう気は無くあくまで地元の人達の声で、力で、形になるのを手伝いたい。と、伝えていきます。SKさんも快く理解してくれている。

来月中には、建てる予定の土地は更地で確保できる予定。場所は歌津?(南三陸内は確か。広さは不明)NPO立ち上げはSKさんで進めているそうです。多分、いつからでも手助けを欲している状況だと思います。今後、ゆめ風との関わりかたも含め話をしていく流れになりそうです。

ちなみに、新しく県北支部に入ったDさんのご主人は町役場の人。南三陸で、港の市場再開に大きく貢献していた人はこの人のようです。国から再開に向け、4分の3は出すが、4分の1は地方でだせとの事だったが南三陸町では出せない。残りの4分の1はヤマト福祉財団よりご主人が2億程助成を受け再開させたとの話。再開にあたり、この市場で障害者を雇用する条件で進めていたそうです。実際には、期間がたりず障害者を雇用するまでは至らなかったとの事(ジョブコーチ等の問題だそう)。

12/15

今日は、2グループに別れ行動しました。Yさんの送迎と仮設周り。Aさんの送迎と仮設まわり。私とAさんがYさん。Oさんが、Aさん。仮設周りは今までに出会った人達にカレンダーを配りながらニーズ調査。昼間、南三陸で昼食をとっているとたまたまSKさんと出会う。

昨日言っていた土地は入谷だそう。全部で100坪二つに分かれていて予定としては建物の40坪、駐車場に60坪で考えているそうです。明日、Kさんと登米にて話し合いをするそうです。

12/16

今日は午前中は雪が降るくらい寒かった。午前から昼過ぎまで、仮設まわりをしてWさんの送迎で終了。

SKさんとKさんが来られ話あいをされた。結果としては、ゆめ風としてはいそひよ応援団(SKさんを中心とした色々な活動を行う地域のネットワーク組織名)を応援できるとの事。さらにSKさんが作った書類をKさんが添削するとの事。ちなみに仙台で被災地障がい者センターも法人化するそうです。荒川さんには来月に来て欲しいとの事でした。

明日は、仙台から来た二人とKくんのレスパイト。その後、Oさんと合流して仮設を回る予定。

12/17

午前中、Kくんのレスパイト。昼から、自閉症の女性。以前からOさんが関わりのある方のお宅に行く。物を壊す問題行動があるという理由でN作業所が受けてくれない。日中はお母さんと過ごしている。Oさ



んとしては関わりたかったが関わり方がわからないという事で、一緒に同行。お母さんや家族の人の話を聞く。問題というよりは課題。今後も、Oさんは関わりたいとの事なので、来月以降で出会っていく。自信がないので我々のサポートの中で出会う必要がある。また、それを望んでいる。

こちらで記録として、残しているフェース等に「とことん「わたし」中心モデル」を使ってもらえればと、紹介しています。

12/18

今日は、登米のスタッフ3人が休みの為、仙台ボランティアに残ってもらい一緒に活動。志津川中心に仮設・在宅の方の調査で回った。5ヶ月ぶりにSさんのお母さんと出会いました。お母さんは震災後、まだ立ち直れていない感じ。私達の前でも涙を流すほど。話ではお父さんも精神面が最近下降ぎみになっている。まだまだ震災の影響が大きく、傾聴等のケアが家族にも必要だと感じた。

……………報告者：日浦……………
1/14

今日は一番暖かい時間帯でもマイナス1度という寒い日でした。今日は午前中にKくんのレスパイト。男性のため、Kさんがヘルプで来て下さいました。午後からはKさん、Oさん、Aさんで今後の調査の下見に仙台方面に行くとの事でKさんより、午後から石巻支部でこの前大阪で行われた講演会の報告会が行われるという事で参加してきました。

現在、石巻支部は障がいのある方が集まれる場所を目指しており、今日は保護者の方が多いらっしゃいました。やはり話に出てきたのはサービスがあることは知っているけれども利用できる所が少ない。人に頼みたいけどどうやって伝えていいか分からずめんどくさくなって、結局頼めないという話でした。大阪では「通院の介助もヘルパーがしていますよ」と言う「ありえない」という言葉が出てきたのが印象的でした。これほどまでに地域に差があるのか…と痛感しました。今後は家族の方含め、集まれる場所にしていき、スタッフではなく当事者がしたいことをしていく場所にしたいと話されていました。

1/15

今日は、県北支部お休みで私一人でした。しかも昨晚から雪がいつのまにか降っていたようで少し積もっていました。危ないので出発時間を遅らせてハグハウスに出発しましたが、あいにくイベントのお手伝いに行っていて留守との事でした。その後、今まで行ったことのある仮設や気仙沼まで行ってきました。瓦礫がだいぶなくなっている所もあればそのまま残されている所もあり、まだまだ爪あとが残っています。仮設でもやはり寒いためあまり長

い間お話しすることはできませんでしたが、前向きの言葉が多く聞かれました。

明日ですが、Aさん、Dさんはお休みでHさんと日浦の2人です。午前中は役場へ、昼からはRくん、Wさんの送迎の予定です。

1/16

できるかぎり運転はセンターの皆さんにお願いしていますが、Oさんに運転のコツを聞いておきました。明日からは寒さもピークを過ぎるようなので凍結の心配も少し薄れるのではないかと思います。

今日は午前中、Oさんからケースの話聞き、午後からはRくん、Wさんの送迎でした。午前中聞いたケースで白石が報告していた自閉症の女性について今後関わっていきたいので1月18日(水)にDさんと日浦で訪問することになりました。そこで今後どのようにセンターが関わっていけるかと本人さんを見たいと思います。それ以外のケースも火、水曜はOさん、Aさんがヘルパー研修のためいないのでDさんと確認していけたらと思います。

話は変わるのですが、現地の人の娘さんの話を聞くことができました。今月12日に久しぶりに地震があり、その時学校にいた娘さんはしばらくして倒れたようです。それから目が覚めると娘さんは仮設に入り、新しい学校に入った頃から現在までの記憶がなくなっていたそうです。日常的な記憶も(パソコンのマウスを見てこれ何?と聞くなど)部分的に抜けているそうです。学校のカウンセラーは無理に思い出させないように様子を見てみてください。と話していたそうですが、身近にそのような話があるのに驚きました。

震災から日が経ってはいるものの、心の中に大きなストレスがかかってしんどくなる方は他のケースでも出ています。今は大丈夫でも、何かのきっかけによって様子が大きく変わるというのを頭に入れておかなければと思います。

1/17

だいぶこちらの気温にもなれてきました。夜は暖房器具なくても寝られるようになりました。

今日は Y くんを送迎のみでした。D さんは送迎が初めてでしたが、Y くん雰囲気を楽しんで送迎でした。明日は今日電話で依頼が来た H さんの通院送迎と昼から女性のケースの聞き取りに行ってきます。

D さんとの話。送迎を考えると南三陸町に支部を作った方が、効率がよいのでどうかという話はしているものの、場所の関係などでなかなか進んでいないようです。現在の送迎の仕事の続けながら県北支部 3 人で実施していくのは難しい。登米の社協などと一緒に頑張って何かに使えないかという話はしたそうですが、社協からは「足りている」と返されたそうです。現在はヘルパー研修など研修して知識を蓄えている時期なので 2 月くらいから皆でまた考えていけたら・・・という話でした。

1/18

こちらへ来てから日中でも「2 度」という表示しか見ていませんでしたが、今日は 8 度でとても暖かい日でした。

今日は午前中予定していた H さんの送迎がキャンセルになり、時間ができたのでハグハウスに行ってきました。今日は A 団地の集会所で移動カフェをしておられました。今日初

めてする場所、しかも昨日告知したということでしたが、20 名以上の方が集まっておられ、話をされていました。

現在は、基本 6 名で午前中に移動カフェ、午後からは気になる方への個別訪問をされているとの事。仮設をまわっていたけど、在宅の方でも孤立している所もあるので行ってない所をとにかく 1 月はまわるそうです。そこで T さんから、昨日 SK さんに会い、今後のおもちや図書館についてなど話したそうです。その話では新しい場所を提供してもらうことについて、SK さんは純粋にみんなの集まれる場所が欲しいことを話されていたようです。それ以外に SK さんの件については聞いていないのでまた明日 O さんに聞いてみます。

あと T さん、M さんの話でこの土地の方でやっていくことの難しさを南三陸にいて感じていると話しておられました。

それから自閉女性の方の訪問をしました。今日は具体的なスケジュール確認、私が可能な関わりなどの話をしてきました。私たちがこれから関わっていくことには前向きですが、やはり今までの失敗経験があるため、任せることが心配な様子。そのためレスパイトという形でも最初はお母さんも一緒に本人とドライブしてみても？と提案する。前向きな方向で D さんからも相談してみて再来週からでもしていけたらいいかもという話でした。明日また話をつめたいと思います。

1/19

今日は Y くんを送迎のみでしたが、初めて県北支部の 3 人全員が揃いました。今日が初めてで、最後の集合だったので色々なケースの確認をしました。

SKさんについてですが、Oさんに聞いた話ではSKさん自身が、1月10日から仕事を始めたそうです。内容は被災地復興に関する事をM大学の先生と一緒に復興ステーションをつくり、活動していくようです。SKさんは外部から適任ではないかという声があり、推薦されたそうであと2名ほど雇い、5年契約で雇われるとの事でした。そのため、SKさんの団体はNPOにする流れは変わらないが、活動を今ほど頻繁にはできなくなるかもしれないそうです。そして今日Oさんとの電話の話でおもちゃ図書館をNPOにするのも、今まで活動してきたがNPO法人になることによってそれしかできなくなるのではないかと悩んでいる様子です。2月1日にゆめ風のスタッフとYさんが色々なセンター支部などをまわって登米で泊まることになっているので、そこでSKさんが来て話してみることになるかもしれません。

1/20

今日はOさん、Aさんヘルパー研修のためDさんと二人でした。午前中は事務処理、昼からは気仙沼で在宅で生活している方の同行訪問をしました。

重度身体の方で呼吸器をつけて生活をされています。震災の時は電気が止まり、大変な経験をされたそうです。新聞の記事になったそうで、それはきっかけに家にソーラーパネルを取り付けることになったそうです。場所的に県北支部が一番近いので、今後つながっていったらいいのではないかと紹介をされました。お母さんのお話を聞きながら、本人に関わっていく形になると思われます。

1/21

今日はKくんレスパイトのみでした。本人とも2回目なので慣れてきたのか楽しい時間が過ごせました。土曜のレスパイトはやはり男性が必要なため、そうそうの杜からは男性が来るのは助かるとAさんから言われました。ちなみに来週は仙台からのボランティアと大竹でのレスパイトになります。その後、おもちゃ図書館のお手伝いになる予定。

Kさんと県北支部の話で、今後は仙台の拠点(被災地障害者センターみやぎ)を縮小し、石巻・登米を主に活動をしていこうにしていきたい。そして2つでまとめてNPO法人をしていく流れのようです。たすけつとは外部団体として応援していく形になっていくのでは。という話でしたが、県北支部などに丸投げの形にならないようにしていきますとのことです。

そのために、支部のスタッフの人数ももう少し増えることになるかもしれませんが、まだ先が見えないという様子です。県北支部の方も先が見えないことに不安を感じているようです。今は目の前にあることをひとつずつ一緒にしていくことが1番だと思います。

今日でボランティア終了です。あつという間の10日間でした。明日はOさんに送ってもらって帰ります。



……報告者:大竹……

1/23

こちらは土日に雪が降った模様で道路など若干雪が積もっています。

今日は仙台のCILたすけっとに行きました。Kさんはいませんでした。Oさんと少し話をさせていただき、地域の中でどう人と人をつなげていくのか現在模索中とのこと。できれば相談窓口だけでなくコミュニティの中でフランクに話し合えるサロンの様な集いをもっと出来たらいいが…とおっしゃっていました。

その後県北支部へ、OさんAさんはヘルパー研修のため不在でした。活動としては何もしていませんがDさんよりケースの説明などしていただきました。

1/24

今朝の気温は-6℃でした。今週は底冷えするようなので車の運転、体調には十分気をつけたいと思います。今日もOさんAさんはヘルパー研修に行かれています。今日予定されていた送迎がキャンセルになったため、2月4日(土)大阪市福島区で行われる「あいあいまつり」で南三陸町のブースを用意して貰えるらしくそのお手伝いをDさんと行いました。

明日は午前中Dさんと南三陸町内の資源や道を案内してもらいます。その後14時にSさん宅に大竹と顔合わせ、今後の話し合いを行うつもりです。明日はOさんのみヘルパー研修の予定です。

1/25

今朝、散歩しようと思っ外に出たのですが…一面の銀世界で感動したようなため息をつくような…そんなスタートでした。午前中は少し事務処理を行いその後南三陸初めての

竹に資源や道をDさんより教えていただきました。その後はレスパイト利用の件で自閉症の女性のお宅に訪問しました。

二月からのレスパイト利用で話を進めています。ただ、送迎・家族の都合上まずは週1回(火)の利用がいいとの事です。家族の方も物を壊すという行動を一番気にされているようで、初めの内は安心していただく為にも同行されるのが好ましいと思われます。それに関してはお母さんは合意されています。またカードを使ったコミュニケーション手段も本人・家族に実際のカードやスタッフの写真を用いて紹介しています。以前の施設ではそういった試みはされていなかったようで試してみる価値はあると思います。

ご家族(特に母・姉)がいつもついている状態なのでお母さんの方は少し疲れている様な印象を受けました。2月からの利用という話にはなっていますがそれまでに定期的に様子を見に行く事も必要だと感じています。

明日はやっとOさんと会えるのでハグハウスやSKさんの活動について聞いてみたいと思います。そして実際にハグハウスの方へ活動を見に行きたいと思っています。

*【ハグハウス】…震災当初から南三陸町でボランティア活動を行っている組織。全くのボランティアで金銭の裏付けもなく、避難所や仮設住宅でカフェの活動を実施、その中で震災当時のことやその後の生活のしづらさなどを傾聴することで精神的な負担を軽減してもらおうという活動を行っている。このリーダーと関係が有ったのでそうそうの杜は南三陸町へ支援ボランティアを継続することにした。



1/26

今日は最低気温 -10°C 今年に入って一番寒い日ということでした。寒いというよりも痛いと感じたほうが正しいかも…。

今日になってやっとOさんと会うことが出来ました。3日間連続で朝早くからのヘルパー研修ということもあり少しお疲れのようでした。今日は近くを通ったので作業所によりました。そこで管理責任者の方から現状の話を聞きました。作業所としての機能は、仕事を受注していた企業も被害にあい以前の作業はストップしている状況。代わりに牛乳パックを用いて紙すきをし、はがきなどを作っていくとの事でした。しかし商品の質が一定ではないためボランティアより機械を寄付していただけるよう、それから本格的に始動といった感じです。

その後ハグハウスによって見たのですが不在との事でした。

明日はJDFの会議がベイサイドアリーナでありKさんが来られます。出席するか否かは指示を仰ぎたいと思っています。それから送迎、事務処理です。

Sさんの件で追加の資料を作成しました。カレンダー形式で月間のスケジュールを目で確認できるようエクセルで作成しています。

1/27

今日も身が凍るような寒さです。

今日は昼前にKさんがJDFの会議にでるということで来られました。ベイサイドアリーナでの会議前だったので挨拶程度しかお話しできませんでした。午後からAさんとボランティアのNさんと送迎に行ってきました。自閉の方ということもあり新しいスタッフが2名いることでどうかと思っていましたが、特に混乱する様子もなく車内で落ち着いて過ごされていました。

Sさんのレスパイトの件、まず全体像をしっかりと把握するよう情報収集をしっかりとやります。明日は午前レスパイト、午後からおもちゃ図書館におもちゃを届けに行きSKさんとも話をすると思うので確実にいけるかどうかまだ分かりませんがOさんたちとも協議していきます。

1/28

昨日、一昨日に比べると寒さは緩んではいますが相変わらず温度計を見るとマイナス表示ばかりです…。

今日は午前から自閉の方のレスパイトの利用でのドライブ。午後からはおもちゃ図書館に行きました。そこでSKさんと初めて会い、挨拶しました。子どもの遊ぶ様子を見てもう少し広い場所で子どもたちが走り回れる環境があればいいのだけど…とおっしゃっていました。またその場にハグハウスに土地を貸している大家さんもおられお話したのですがハグの方がいま地元に戻っているらしく、2/5、6あたりに帰ってこられるとの事です。Mさんは2日に帰られるかもとおっしゃっていました。

明日センターは休みです。ベイサイドアリーナのほうで「寒鱈まつり復興市」というイベントがあるらしくそこにおもちゃ図書館のブー

スもあるので見に行こうと考えています。

Sさんの件ですが過去の情報等をとことんに記入中です。

1/29

相変わらず寒さは続いています但天気はよく気持ちいい朝です。

今日はベイサイドアリーナにて「寒鱈まつり福興市」に行ってきました。南三陸町を中心として各地の様々な団体がブースを出店し模擬店やステージでのライブが行われています。その中でも被災経験を後世に残すために活動している地元VO団体「語り部の会」さんの体験談には胸が苦しく感じました。おもちゃ図書館もブースをだして寒い中子どもたちが元気にはしゃいでいました。そこでSKさんとお会いしてお手伝いさせていただきました。

やっと寒さにも慣れてきたと思えば…あつという間の10日間でした。明日は朝、Oさんに送ってもらいたすけつとによって帰阪します。



……………報告者:高橋……………

2/5

昨日到着しましたが、数日前に降り積もった雪がまだ残っています。寒さもありますが昨日から今まで水が出ません。誤って電源を落としてしまった水道管が凍結してしまったようです。本日修理予定ですが、やはり水のない生活は大変ですね。今日は石巻支部、送迎2件の予定です。

2/7

本日はここ数ヶ月では初めて氷点下にならない比較的温暖な気温でした。

午前中・夕方はYくんの送迎。久しぶりに出会ったが、覚えていたのか定かではないが、抵抗無く隣に座らせてくれ、車中では食べものの話を中心に談笑が続く。作業所は増設中。現在は畑作業も出来ず、紙すきをしたりのんびり過ごしているとのこと。ただ、増設できればまた作業活動も行いたい、なかなか作業が受けられないのが現状であるとの事。

南三陸町役場もベイサイドアリーナ敷地内に建設中で、町も少しずつ復興に向けた動きが確認できる。

Yくんの送迎の合間、Sさんの自宅を訪問。本人、母、姉、祖母を交えてお話を伺ったり、本人の興味あるものを試してみたりする。絵を描いていたが、アニメのキャラクターであるということはすぐに分かる。特徴をしっかりとおさえて描くことができている(ラムちゃん、おじゃる丸など)。描いた後は破っている。また、人の名前はしっかりと覚えておられ、高橋の名刺に目をやると何度も読み返している。基本的に苗字でなく下の名前を呼んで覚えている(はるかさん、たつやさんなど)。

その後、iPhoneで本人が好きだという「AKB 48 会いたかった」の動画を見せてみると、集中して見ている、曲が終わると自ら「キューティーハニー」と要求あり。小さな声で口ずさみながら見ている。「うる星やつら ラムちゃん」「おじゃる丸」と要求が続くが、エスカレートすると思われたため、おじゃる丸の前で「おじゃる丸でおしまい」と紙に書いて提示。おじゃる丸が終わってすぐに電源を切るとそれ以上は要求無し。

男性嫌いかとも思っていたが、本人の興味があるもので関わりを持つことで安心できたのか帰り際にはハイタッチして別れる。これまで自宅では動画が好きなのは分かっており、見せるがエスカレートして終われないとのことであった。ただ、終わりをきっちり提示することで、これも安心して見ることができるのではないかと感じた。

典型的な自閉傾向の方であるが、生活の中で言葉が必要以上に飛び交っており、本人が理解できない世界がストレスを誘発しているようにも思える。きっちりと見通しを立てることで安心できる場面が増えるように感じる。

今回は土曜日の午後、2時間ほど時間をいただく。ドライブに連れて行くことを約束する。本人は車に乗っていることが好きとのこと。また、ジェスチャーで○を伝えると理解できて笑みも見られる。地元の支援者が思っているほどの問題は全く感じない。本人の問題というよりは周囲の環境の問題がほとんどではないか。本人との関わりの中でアセスメントしていき、ゆっくりと時間をかけて支援を考えていく必要を感じる。

2/8

本日は朝から終日、石巻支部にて 3 月 1

日創刊予定の機関紙「によつきり」のための話し合いに参加していました。当事者活動を主体に進めている石巻で A さん、I さんを中心に機関紙を発行し、町の人々や復興支援に関わっている団体・個人に向けて新たな展開を拓いていくというものです。もちろん登米からの活動の報告も入ります。

また、本日の活動とは別件で、D さんのご主人が現在、町の職員として産業復興に携わっておられるらしく、これまでの南三陸ではなかった障害者の就労支援を考えたいという思いがあるようです。町の復興のための森林伐採を中心に障害者も健常者と共に働ける環境を作っていきたいということと、地元の産業の中で障害者を雇用できる環境を作っていきたいという思いが強いようですが、一方町で前例の無い「就労支援」について、どのようなものがあるのかなど基本的な部分の話を聞きたいということで、本日夜にお役に立てるか分かりませんがお話を伺うことになりました。

本日、明日は O さん、A さんは研修で不在です。明日は Y 君の送迎と「によつきり」の原稿作成(その補助ですが)を行う予定です。

S さんのフェースシート・アセスメントシートなどは D さんには目を通してもらい、今後、共通の認識で本人と関わっていけるように、登米支部でもきっちりとディスカッションしていくことを提案しています。実際に話が出るのは金曜日か土曜日の直接支援が終わってからになるかと思いますが、出来る限りアセスメントと計画シートを埋めて大阪には戻りたいと思っています。

現地は本日からまた急激に寒くなっています。体調を崩さないよう気をつけて活動していきます。

2/9

本日はまた氷点下の朝からスタートでした。日中はかろうじて0度。しかし晴れており実際は気温ほどの寒さを感じない1日でした。活動はYさんの送迎。間の時間は雪や雨で汚れていた車の洗車を行いました。さすがに水がすぐに凍ってしまったりと洗いにくかったです。最終的にはキレイに仕上がりました。送迎後は事務処理をしています。

城東区での来年度の復興即売会についてDさんに話をしましたが、「ぜひやってみたい」ということです。明日、Oさんらとも相談するとの事です。

昨日の夜、Dさんのご主人から伺った話ですが、水産業を主として仕事はされていますが、住宅の高台移転などのため、どうしても林業も必要で、そこに障害者を取り込めないかというのが本音です。また、南三陸町では数少ない作業所(旧法)の定員にも限りがあり、特別支援学校を卒業した後、行き先が無く、在宅で人目から隠れるように生活せざるを得ない障害者がたくさんいるということで、そういった障害者を外に出して活動できる「就労支援」に興味があるということでした。実際には職員配置や設置基準などすぐには対応が難しい部分もあるでしょうが、震災前まで障害者は「出来ない人」或いは「問題を抱えた人」という町全体の認識を、この機会に少しでも変えていくためにも、障害者の姿を町の方々が自然に見られる環境を作ることも必要ではないかと感じました。事業として就労支援が成り立たなくても、一般の就業の場所に障害者を取り込むことは可能で、そういった姿を見て障害をマイナスに捉えるのではなく、特性として捉えられるようになるとともに、実践(関わり)を通じて、就労支援のニーズが町から起こり、

就労支援につなげるという形もとれるのではと提案もしています。また、仙台にある職業センターを通じてジョブコーチを利用することも可能であるなど幾つか提案しています。南三陸町には地場産業があり、これは大阪にはないメリットでもあります。地元の生活の中に障害者が入れる環境が作れることは南三陸町のこれからにおいて非常に意義のあることだと思います。

実際に就労支援を具体的に理解できないのであれば、現地の障害者や就労支援に意欲のある支援者らを大阪に呼んで、見ていただいてもいいかとも思いますし、現地の障害者の活動とタイアップして何か生産性のあることが城東区でも出来ればと思います。

明日はWさんの通院の付き添い(送迎)があります。気仙沼の病院まで行ってきます。

2/10

本日は朝から地震、気温は氷点下、日中も最高気温が-2度と雪が降る1日でした。

Wさんの通院付き添い。気仙沼の病院に通院しています。この病院、震災当日は津波の被害に遭い、入院患者も全て転院。現在は補修工事を経て再開しているということです。Wさん自身も震災当日はM園におられ、「志津川は全滅」という情報のみを聞き、「両親が死んでしまった」という不安からパニックになり、最終的には三峰病院に入院したということです。他にも同じようにパニックになった方々もおられたことでしょう。

通院の帰りにWさんの希望で気仙沼のイオンに寄りましたが、偶然、Sさん親子(本人・母・姉)とバツタリお会いし挨拶を交わしています。Sさんも高橋の顔を見て「いさお・・・さん」

と覚えておられました。明日の午後、ドライブに行くことを確認しています。

志津川の町は少しずつ変化を見せています。

2月25日(土)には仮設商店街もオープンします。津波の被害で全壊となった戸倉小学校は現在、登米市の廃校になった小学校舎を間借りして勉学をとっているとのことですが、春には志津川小学校の校舎1階に移転するそうです。ただ、学校行事についても教員についても別々で活動するという地元ならではの事情があるようです。大きな原因は「行事になると保護者や親族が学校に車で行くが、両校一緒にすると車を置く場所がないから」だそうです。首を傾げますが、南三陸には集落ごとのルールがあることを思い知らされました。

明日は震災から11ヶ月目となります。活動予定、午前はKくんレスパイト。午後はSさんのレスパイトとなっています。情報を得て、アセスメントしていきます。Oさん、Aさんも研修を終え、本日Sさんのとことんに目を通してもらいました。明日の活動も踏まえて計画シートを作成できればと考えています。活動は明日が最後になりますが、寒さに負けずに頑張ります。

※来年度の復興即売会？ですが、「声をかければ喜んでいく人は多くおられる」とのこと。ぜひ・・・とのことですが、時期によって売れるものが限られ、養殖のものも秋以降でないと言っ

ていないとのこと。秋ならば・・・というのが現状では可能性が高いようです。

※南三陸町で障害手帳交付者の総数は約940名。内訳までは調べていませんが、障害者の通所事業所はN作業所(定員20名)のみというのが現状。若い世帯の親御さんには「障害のあるわが子を社会に」という方も見られてきているのも事実。なんとか障害のある方々が日中活動できる場所が確保できればと考えます。

2/11

震災から11ヶ月の朝は氷点下で凍える寒さを感じました。午前中はKくんのレスパイト。ドライブコースも定着しているようで、普段のレスパイトと同じコースで活動。乾燥し顔を掻いてしまうことから、保湿剤を持参して車に乗り込む。普段は意外と車の中では音楽を聴いて窓を叩いたり、同乗者にやりたい放題？の部分があるようであるが、本日は顔を引っ掻く行為も、大げさなアクションもジェスチャーや言葉で関わることで落ち着いて過ごされる。笑顔も多く見られ、トイレでの下車もとてもス



ムーズに動かれる。

午後は S さんのレスパイト。初日ということで母にも同乗してもらい本人のリクエストで気仙沼の「ジャスコ」に行く。車中ではスタッフの名前のみならず「そうそうの杜」という名前も覚えておられとてもありがたい気持ちでスタート。ドライブカード・トイレカードを使用し、トイレのときのサインを求める。

ジャスコに到着するまでに何度かカードを見せるが、理解できると「トイレが無いとき」はカードを裏返して置かれる。「トイレが有る時」はカードを表に向けて置かれ、ジャスコでトイレへ。しかし、ジャスコに入った途端「2 階から火事」との館内放送が鳴り、買い物客は全て館外へ誘導される。トイレが終わるとそのまま車に戻り、ジャスコを諦めそのまま本吉経由でドライブへ。

車中では高橋の iPhone で音楽を聴いたり、好きなアニメの画像を見たりして楽しく過ごされる。音楽も「これでおしまい」と事前に伝えると、その音楽が終わると自分から「おしまい」といって切り替えが出来る。とても穏やかに過ごせており、何の問題も感じない。

車中で母から伺った話では、南三陸には在宅の障害者がたくさんいるということ。S さんに関しては、事業所のスタッフから「この人は何度も同じ事言っても、全然わかんないから…」と突き返されたとのこと。S さんのような特性の利用者にも言葉をベースに支援という名目のものが執拗に繰り返されたのだと伺い知ることが出来る。

S さんはたこ焼きが好きなようで、登米拠点でたこ焼き器を購入してもらい、たこ焼きパーティー・カラオケパーティーをするなどこの先の楽しみな関わりも検討できる。次回は 18 日

(土)にレスパイト。「ひろしさん」が来ることを書面で伝えている。

あつという間の 1 週間だった。県北支部の今後の活動はまだ定まってはいるが、個別のケース対応から何かしらの方向性は出てくると思われる。また、南三陸の支援を考えると、やはりまだまだボランティアを必要としていることも理解できる。ただ、支援の方向性が決まれば、それをしっかりと把握し、アドバイスや具体的な提案をしていくことも必要かと思われる。新年度になっても、引き続き関わっていききたいというのが個人的な思いです。

……………報告者：富吉……………
2/14

本日は、Y 君の送迎と、H 君の送迎があり、A さんと H 君の送迎をおこないました。

O さんは、14 時～社協会議に出席、明日は仙台市長町にてスキルアップ研修の為、仙台に向かわれました。A さんも明日の研修に参加されます。明日は、D さんと H 君の送迎の予定です。明日の午後はボーイング社から視察と寄付の話に来られるそうで K さんが対応されるそうです。

D さんは石巻支部にて 3 月 1 日創刊予定の「によつきり」の原稿仕上げで忙しくされています。原稿の仕上げをやりながら送迎にも同行されています。明日は、O さんと A さんが研修で不在の為、D さんに負担をかけない様に動きたいと思います。

ピアフェスタ in 城東で出店予定の、石巻やきそばに関しては 16 日(木)に O さんと石巻の事務所に行く予定があるので、石巻のスタッフと調整をします。油麩井に関しては登米で油麩を仕入れます。お米は志津川のお米を O

さんが用意してくださるようです。ワカメなど地元
の食材についても調整ができればと考えて
います。

16日(木)あたりは寒さが戻るような予報で
すが、今日の日中は穏やかな天気、快適に
過ごせました。被災地支援に来るスタッフの
方へ、Sさんへの事前に写真を提示するこ
とが必要ですので早めに送って下さい。

*【ピアフェスタ in 城東】・・・大阪市城東区地
域自立支援協議会で開催するお祭り。今年
は被災地支援をテーマに現地から材料を調
達し、収益はゆめ風基金を通じて被災地支
援に寄付をした。



2/15

今日は午後から予報どおり風が強くなり、
午後の送迎時は強風でハンドルがとられる状
態でした。午前は風もなく良いお天気でしたが、
さすが冷え込んできました。強風で大荒れに
なるそうです。雪が降れば明日の朝は確実に
路面が凍結するそうです。東北に来たとい
う感じがようやくしてきました。明日の活動も
ですが、気を引き締めておこないたいと思
います。

OさんとAさんが、仙台市長町にてスキル
アップ研修があったのでH君の送迎(午前:

D・富吉 /午後:富吉)をおこないました。H
君の送迎は今週だけなので、田島さん以降
は今のところ予定がありません。Wさん、Y君、
S君の送迎とK君、Sさんのレスパイトが固定
であります。

夕方、ボーイングジャパン株式会社の視察
で、仙台よりOさん、Kさん、DPIの方が来ら
れました。3千万円程の寄附が頂けるよう
です。車両購入や運転手等の人件費(1年間)
等にあてる予定とのこと。その他の活動費に
もなるようなお話しでした。登米や南三陸町
の活動に有効活用される事を願います。

24日(金)JDF会議、25日(土)おもちゃ図
書館:入谷公民館、28日(火)ヘルパー研修
修了式(OさんAさん)があります。仙台たす
けっからの予定(研修・話し合い)が突然入
ったりするようで、それに伴いOさんの予定が
変わるようです。

現在、任意団体のセンターみやぎをNPO
法人にしようという動きで、昨日Oさんが話
し合いに行かれました。センターみやぎは15団
体で構成されているようで、話しがまとまら
なかったようです。NPO法人の話しは一旦保留
になったそうです。

Dさんのご主人が取り組もうとされている就
労支援に関してですが、とにかく行政の動き
が悪いのと、地元のS会の動きも問題で大変
そうです。地元の間人としての強みを活かす
事ができれば、S会さんとも上手くやってい
けると思います。県北支部独自の動きも考
えていかないといけないと話されていました。
とにかく行政の動きが悪過ぎると嘆かれていま
した。私利私欲でしか物事を考えていない人間
が多過ぎて、新たな取り組みには何かと意見
し邪魔をするようです。悲しい事です。

明日の予定は、H君の送迎と石巻支部にOさんと行く予定です。Sさんと夕方以降でお逢いする予定です。

2/16

本日もお天気で、陽射しがあると実際の気温ほど寒さを感じませんでした。Oさんが「今日は雪が降るかも？」と言われていましたが、雪が降る気配も、風もほとんどなく穏やかな一日でした。「こんなに穏やかな日が続くとは・・・。」とOさんも少し驚いていました。今夜～日曜日にかけて冷え込むという予報なのですが・・・。路面凍結、強風時は気をつけて運転したいと思います。

本日の活動は、午前・午後とH君の送迎と、空いた時間はOさんと石巻支部に行きました。NHKの取材と機関紙「によつきり」の仕上げをされていました。石巻で有名な味噌(高砂長寿味噌本舗)を紹介して頂きました。石巻やきそばの仕入れ先(株式会社麺舗かのまたや)を紹介して頂き、昼食に石巻やきそばを食べました。麺は1玉68円、粉ソースは1k1,050円です。好みで市販のソースで味付けしているそうです。味付けはアバウトなようですが、目玉焼きは外せないようです。ワカメ等はDさんのご主人経由でお願いしました。油麩は明日製造どころを紹介してもらい仕入れる予定



です。

このあとSKさんとお逢いする予定です。Oさんの話しでは、NPO設立に向けての動きは止まっているようです。改めて報告します。

明日の予定は、午前:H君の送迎、その後単独で南三陸町に入ります。午後:Dさんと待ち合わせをし、Wさんの送迎をします。20日(月)NHKの取材があるので顔合わせをします。

2/17

本日は、起きてびっくり、外は深夜に降った雪で真っ白な世界でした。車に積もった雪を落とし、歩く所の雪かきから始まりました。雪雲が空を覆い陽が射さなければ車の運転は非常に危険な状態でした。しかし、陽が射しだすのがはやく、今日も快晴で路面の雪はどんどんと溶け出したので一安心でした。(陽の当たらないところは雪が溶けず、明日の朝は凍結している恐れがあります。運転は気をつけておこないたいと思います。

本日の活動は、午前:H君の送迎。その後は、Oさんと南三陸町に入りました。午後の予定にあったWさんは、雪のため作業所をお休みされるとのことで、キャンセルになりました。昨日お逢いできなかったSKさんとさんさん館でお逢いしました。ハグハウスにも出向いた



のですが、不在でした。Sさんのお話しでは、地元の方がハグハウスに入られている事も多くなり、TさんやMさんは帰っている事が多い。活動は少なくなっているが、小さな仮設にしぼってカフェはされている。おもちゃ図書館にも来られたり来られなかったりとのこと。Oさんからの情報ですが、ハグハウスを現在バックアップしているのは関西生コンさんとのこと。

SKさんのお話しですが、現在は某大学の関係で動いており、南三陸町復興ステーションをされています。地元の物の販売や、その他プロジェクトを進める計画だそうです。NPO法人に関しては、動きが止まっているようです。ログハウスは必要だけれど任意団体ではダメだという条件が大きな壁になっているようです。大学の関係で動きながらNPO法人を設立するという両立は非常に負担であるとのこと。NPO法人を設立する以上、中途半端な事はできない。実際に動いてもらう人の確保、人件費・その他経費が保障されない事も大きな壁のようです。SKさん自身も生活していかなければいけないという現実もあるようです。障害のある人だけでなく、高齢者、地域の人たちが集まれる場をつくりたい。必要であるという思いは強く持たれているので、SKさん以外で動ける人がいない事も大きな壁です。センターみやぎ県北支部(登米)だけではなく、志津川にも拠点があればという思いもあるようで、建物ははやく欲しいと繰り返し話されていました。建物をもらうために中途半端にNPO法人を設立したくないし・・・という事で止まっています。

南三陸町の現状ですが、Oさんは「だいぶんスッキリしたでしょ。」と言われていましたが、1年が経過しようとするのにこの状況かというのが実感です。昨日、石巻の街中を少しまわ

ったのですが、建物が残っている所が多く南三陸町とは違った様子でした。

明日の予定ですが、K君とSさんのレスパイトがあります。



2/18

今日も1日良い天気でした。氷点下になることはなく陽射しがあると実際の気温ほどの寒さを感じませんでした。歌津地区を抜けて気仙沼に入る山辺りで雪が降っていました。

今日の活動は、10時～12時:K君、13時30分～16時:Sさんのレスパイトでした。夕方、17時前に荒川が登米に入り、Oさんたちと今後の動きに関して話しをされていました。火曜日の朝には詳しい報告があると思います。

K君の様子ですが、自宅から出て来られた時から表情が穏やかで、レスパイト中も落ち着いて過ごされていました。富吉に近づいたり、離れたりと自分で距離をとっておられました。背中を触ったり、手に触れたりすると感触を楽しむ感じで「いつもより音楽を聴いている時間が少ないです。」(Oさん)

視覚から情報を得ることが厳しい状態なので、他の感覚で色々な情報を得ています。スタッフの首を掴んで匂いを嗅いだり、髪の毛を触ったり、叩いたりするのは、確認と関わって欲しいという意味合いが強くと感じます。こち

らがK君の嫌がらない範囲でスキンシップをとると笑顔も見られます。首を掴んで匂いを嗅いだり、髪の毛を触ったり、叩いたりという行為は殆どありませんでした。

Sさんの様子を高橋から聴いていたのですが、穏やかで落ち着いています。障害特性として色々なこだわりはたくさんあるのだと思いますが、Sさん以外(事業所・スタッフ)に問題があるのだと思います。「大変だ、大変だ。」という話しが町全体に広まり、名前を聞くだけで「大変ですね。お断り・・・。」という状況になっているようです。登米拠点の役割としてSさんへの支援に取り組んでいくべきだと感じました。レスパイトが終わり少しお母さんとも出会えたのですが、「何か迷惑をかけませんでしたか？何かしませんでしたか？」と非常に気を遣われていたのが印象的でした。実際に取り組んでいく中でお母さんとの関係は作れていくと思います。レスパイト中のトイレ休憩でスーパーに寄った時は「そうそうのもり、ひろしさん」と言って手をつないできたり、腕を組んで来られました。

明日の予定は、荒川と石巻、南三陸町をまわります。Sさんとも出会う予定です。夕方、都合があればSKさんと会い、夜はDさんの旦那さんとお話する予定です。

2/20

本日も快晴でした。日中はジャージで過ごせるぐらいの暖かさでした。夕方はさすがにジャージでは寒いです。

本日の活動は、荒川と入谷に入り、SKさんが活動されているさんさん館に行きました。午後はS君の送迎とWさんの送迎を行いました。送迎の様子をNHKが取材されました。

2/21

あつという間の9日間でした。田島さんに引き継ぎ、やるべき事は託したので特に報告はありません。田島さんが活動している間に、Sさんを登米拠点に連れて来るといふ重大な任務、その必要性を伝えました。地元がやれないと投げたケースを受けて取り組むというのが役割だと思います。大変な人というレッテルを貼って受け入れないS会に憤りを感じます。「何回言ってもわからないんです……。」(当たり前)に平気で言える程のレベルである事が何よりも不幸な事だと感じます。南三陸町の福祉を担っているなら、そのプライドをみせろ！という気持ち。S会が投げればそこで支援が終わってしまうという現実を打破するために県北支部はあるのだと思います。南三陸町を中心に取り組んでいくのであれば志津川に拠点を置くべきだと思います。近い将来そうなることを願います。まずは、登米拠点でできることを取り組んでいく事です。

送迎に関しても、S会や支援学校が柔軟に対応すればできるのではないかと不思議です。「範囲ではない」と対応しない事が問題です。しかし、これもまた当たり前と言って対応しないのが現状です。「大通りまで出れば乗せるよ……。」悲しい事です。少し手を伸ばせばできるのにやらないという感覚がわかりません。

昨日、S君を志津川小学校から歌津(ファミリーマートと左折)まで送りました。ひどい状態の町の風景を眺めている姿をみると辛いです。きりがないのでやめます。後は田島さんに任せます。

.....報告者:田島.....

2/22

本日天気は快晴。しかし気温は低く朝からいい冷えっぷりです。

今日 A さんは休みです。朝から D さんは南三陸で建物など視察した後、石巻に直接行かれ冊子作成会議。私と O さんは県北事務所より直接石巻へ向かい合流しました。最終の文章構成等。その後 D さんは石巻に残り、D さんと二人で行動しています。

予定より遅れましたが無事に S さんのお宅に到着。S さんにホワイトボードで挨拶。握手してくれました。事前に写真で見せてくれたからか、静かに「たじまなおと。」と繰り返していました。当日迎えに来るスタッフ数名をボードに書いて説明しています。S さんが「ふさえさんは？」と言うので登米で待っていることを絵に描いて見せると納得しているようでした。日曜日に来たのは誰？と家族に聞かれて「ひろし君(富吉)とおじいちゃん(荒川)。」と答えていました。

土曜日の予定を写真付きで【ドライブ→登米休憩所→カラオケ→ドライブ(帰る)】の紙を見せると、じっと見て、自分で順に指差して、確認していました。登米の中の写真も何点かパウチして持って行ったのですがじーっとみていました。休憩してカラオケ等がある事を再度伝えると納得してくれた様でした。見終わるとカラオケの写真のところに指が戻って、自分の歌いたい曲を写真をなぞりながら順に述べて言っていました。その後ホワイトボードにその曲をどんどん書き出しては消しを繰り返していました。踊るポンポコリンのところでおしまいと書いて見せると終わってその紙を破いていました。ホワイトボードも書いて消せるというのに気に入っているようでした。

私の似顔絵を綺麗に書いていたのですが、飽きたのかうろうろと自分でおやつを持ってきて私たちにどんどん渡してきて自分もどんどん食べようとするのでホワイトボードに吹き出しつきで「ありがとう。嬉しい。O さんと田島で食べます。」の旨を見せるとすぐに下がりにあった白紙の紙を自分で破いて、最後にもう 1 つ持ってきて、その後は少ししょんぼりしていましたが落ち着いていました。ここ最近では来客時トイレにこもりだすことが多いのですが、今日はそんなことなくおり、帰りも下まで僕の手を引いて見送ってくれました。

お母さんとの話しでは、どれだけ遠くても自分たちが送迎してでもいいから日中どこかみてくれる所が、あれば見て欲しいと話していました。なんだか怒りを乗り越えて切なくなりました。登米の使い方やこれからの H さんのことをお母さんに軽く触れておきました。O さんとも話していて、登米でのレスパイトを増やしていけたらいいと話しています。お母さんも姉さんも、言葉よりホワイトボードで書いてやり取りしている場面も好意的に見てくれていました。本人 500ml のジュースを持ってきて飲みきっていましたがお母さんによると 1, 5L であろうが飲みきらないと納得しないとの事です。

明日の予定は Y さん送迎があります。D さんは原稿入稿のため、気仙沼の小宮山印刷に直行してから来られます。朝の Y さん送迎後に本部の方が登米に来て今後の NPO にするか否やの会議があり参加して傾聴して欲しいと言われたので参加させていただきます。

2/23

今日は朝から結構雪が降ってきていました。朝から車の雪をのける事から始まりました。自分が入ってからの最近とは違い、異様に寒

かったです。ずっと降り続いて、昼過ぎには雨に変わりました。運転はN作業所への上がりの土の坂道がズルズルで車がすべり運転しにくかった位で道路は雪が解け後は難なくこなせました。

今日はN作業所へYさんの送迎を行いました。一昨日に続き車中はラジオのチャンネルを指定して言葉を繰り返したり、外の景色を見て順に言っていて楽しそうに通所されました。他のBIZの車を数えている様で、今日で(BIZで送迎を始めてから)「20台目。」と、嬉しそうに言っていました。週末のおもちゃ図書館を楽しみにしているようで私に「待っているよ。」言ってくれています。

N作業所の玄関入り口、スロープと階段2種類あるのですが、今日はスロープはすべるとの事でスロープからあがろうとするのをスタッフが止め、「階段から行きなさい。ロープあるでしょ。」「約束は守りなさい。」ともものすごい嫌な感じで言っていました。Yさんは納得が行かずしばらく止まっていて、結局仕方なく階段の方へ行きました。理不尽な言い方と、嫌な言い方だったので「雪で通れない旨を書いて貼っておくか、事前に雪のときは通れないことを事前に提示すれば良かったのではないのでしょうか。」と意見させて頂くと怪訝そうな顔をされ、見事に交わされました。とても嫌な気持ちになりました。

帰ってきてからは本部のTさんが来て県北支部と会議でした。現在、来年度事業計画案を作らないといけなくて、皆でやっています。あと3年はバックアップがあるとの事です。Tさんからは、来年度は今までとは違うスタンスで望んで欲しいとの事です。月ごとののべ人数→きちんとあげて、定期の送迎、不定期、

レスパイトも含めてデータ化する作業を現在しています。

2/24

今日は今朝から強風で朝起きて外に出ると、拠点の旗が全部ふっ飛んでいました。気温は高めだったのですが体感温度は低く感じました。朝にKさん、ボランティアNさんが来て仙台からの荷物を一緒に運びました。

その後南三陸ベイサイドアリーナにて、Oさん、Kさんと共にJDF会議にお邪魔してきました。そこに来られていた気仙沼の就労支援の方の話の話を聞きました。就労希望で待機が140名。そのうち30名(南三陸の人も7名)が就労に繋がっているとの事です。(3月までの期間限定だそうです。)

内訳は公的な機関でのパソコン入力やゴミ収集サポート、清掃業務(ビルや事業所)だそうです。

当事者は納得しておらず以前からしていた水産業を求めている人が多いとの事です。

その後、SKさんにお逢いしてきました。話聞く中で、NPO法人を立ち上げないといけないと思っていたが、気持ちは今は任意団体。もし法人化したときに、おもちゃ図書館の他に、レスパイトや放課後支援や色々・・・スタッフはどうするんだ？はつきり行って怖い、自信が無い。それに某大学が研修センターを夏までに作り横におもちゃの図書館の常設館を建てる予定です。だったら任意団体でやっ払いこうという思いがあるようです。

センターみやぎと連携してそこをうまいこと使えたらなあ。ボランティアさんもその研修センターで宿泊できるかも、とのこと。それでNPO化が止まっているとの事です。そこで県北支部がそこを使って活動ができるか

も、という流れです。現段階で、自分がNPOを立ち上げるつもりはなく、任意団体のまま行き、SKさんは某大学の復興ステーションで活動されています。

それとは別に具体的な方向性としておもちゃ図書館(ログハウス)、交流センターなど、共同運営?連携?...。来年度中には必ず立てる、との事です。

後でOさん、Kさんと話しているとちよいちょい変わるの事だが色々迷ってのことであるかな?とのことです。夕方のWさんの送迎はAさんとNさんに回してもらいました。

2/25

今日は朝から雪が積もり...。その後も雪です。風と共に降り続いています。県北の皆さんもこんなのは今期初だと言っておられました。

朝一に連絡でKさんインフルエンザでキャンセルとの連絡ありました。

そしてSさん宅から連絡あり、「雪のため来られないだろうからなしでかまいませんよ。」との旨の連絡がありました。Oさんの許可も取り、Aさんに様子見てもらいながら、とりあえず向かえるところまで向かいますと告げ、出発しました。車中でラジオから南三陸では、着雪、大雪、高潮、波浪注意報が出ました。南



三陸まではゆっくりでしたが行けたのですが、坂道で後輪がすべり動けない状態になって皆で押しました。Aさんもこれはもう無理だ、との事で、そこで諦めてSさん家に向かうのを諦めました。

引き返しておもちゃ図書館へおもちゃを運びそのまま参加しています。雪のためいつもよりかなり人数少ないとの事。しかしそこでちょうど昨日出会えなかったTさんと母親が来られていて、登米の事(サロンの事、カラオケ)を話していると行きたいと言ってくれています。雪のためいつもより少し早めに終わりました。帰りはゆっくり運転でところどころ圧雪で滑り危険でした。町のほうでは除雪車が出ていました。

Sさんですが、明日の日曜日に変更したい案をOさんに提案しましたが都合がつきそうになく、今のところ断念しております。Sさんに関しては県北のスタッフの体制の都合上3月2日(金)にレスパイトがいけるかどうか?と言う感じです。次に来る山川さんのときに3月8日(木)に立ち寄り顔合わせ&スケジュール提示、12日(月)の登米でのレスパイトの予定で調整しています。

明日日曜日、センターは休みです。予報では曇りから晴れていく様です。動けるかわかりませんが、雪と道路の凍結状況を見ながら、もし動けたら南三陸の復興市場のほうへ行ってみたいと思います。今日土曜日はEXILEの誰かが来ていたようです。

2/26

昨日は雪で本当に残念でした。今日はSさんの件、都合がつけば行くという感じで、最終Oさんより連絡入る予定でしたが、結局今日は都合がつきませんでした。今日はセンター

定休日です。予報では晴れると聞いていました。朝は少し晴れていたのですがすぐに雪が舞い、段々曇ってきてずっと降っている変な天気でした。メイン道路は真ん中以外大丈夫でしたが峠あたりはやはり凍っていました。山間部は降っていました。夕方にはやんでいま

す。
今日はベイサイドアリーナにて「こどもスマイルミュージカル」にお邪魔させていただきました。たすけと本部の Tさんと娘さんが照明で参加されています。Aさんの娘さんが出演されています。お見舞いがてら Kさんのお宅に立ち寄りしました。Kさんの熱はすっかり下がっていましたが今度はおじいさんがインフルエンザになってしまったようです。

あと土曜日から始まった南三陸復興商店街にも立ち寄りしました。やっと店が復帰して第一歩、という嬉しい感じが伝わってきました。人もたくさん居てにぎわっていました。追記で、前回 SKさんと話した内容状況について、以下

昨年12月中旬、おもちゃ図書館の常設館(入谷公民館近く)提供に際し、提供元より個人には提供出来ないの、法人格を取得後に寄贈と言われ、年末にかけて急いで NPO 設立に向け書類を揃えた。しかし1月中旬某大学より復興ステーション(大学の知的資源を活かし地域産業の再生や、地域作りを支え、住民に移動講座を開く等の復興の支援、大学のミニキャンパス的にボランティアの活動拠点の設置)を設置するにあたり採用予定3名(5年間)のうち一人にと打診された。ちょうどいそひよ応援団に資金提供団体より12月で打ち切りと言われたので受諾。



その後の詳細は、おもちゃ図書館建設地の隣に大学の研修センターができる事が判明。研修センターは社団法人格なのでここを経由し常設館の寄贈が可能になる。研修センターは夏ごろまでに出来上がる予定なので夏前に完成させたいとのことです。

常設館が出来てもおもちゃ図書館は月一回だけなのでセンターみやぎ県北の事務所として使用可能にもなるしボランティアが来たときには研修センターも利用できるようになると思われます。この話しが現実となれば SKさんと県北支部がタイアップしてすごい事が出来るかも、(Oさん談)という流れです。

この8日間は前と同じくあつという間に過ぎました。人の話や風景、南三陸町はまだまだなにも始まっていません。今からなんだ、と感じました。皆すごくいい人で、もっと色んな話をしたかったです。それとやはり富吉さんが感じたのと同じように S 会には怒りを覚えます。しかし県北支部が着実に、急激に動き始めている。それが光です。そんな流れに参加させてもらえてとても嬉しく幸せでした。これからも継続して繋がって行きたいと思います。強く素敵な皆さんに私が力を貰いました。

あと S さんを登米に連れて来られなかったのが悔やまれます。このケースからどんどん次に広がっていくと思うので。少しあきますが

次の山川さんに託します。

明日月曜日は、朝3人に挨拶をして、午前
にバスに乗りその後新幹線に乗って大阪に帰
りたいと思います。火曜日より通常業務に戻
りたいと思います。大阪の現場が心配です。

あと O さんより使ってくださいと預かったパ
ウチした南三陸町の写真を数点持って帰りま
す。



……………報告者：山川……………

3/7

本日無事に到着した。こちらは一昨日には
雪が10cmほど積もったそうですが、本日は
晴天で今日全部溶けたんですとの事で明日
からまた少し寒くなるそうですが、雪が積もる
ほどではなさそうです。

お話していた、Sさんについては明日顔
合わせをしに行き9日(金)と13日(火)で登
米拠点へと予定しています。明日伝えて変更

はあるかもしれませんが、その際はまた連絡
します。

それと、先ほどお電話でお話していた明
日PM8:00からの教育テレビ 福祉ネットワ
ークにて先日富吉さんが来られていたときの
取材の分が放送されるそうです。内容はハッ
キリとはわかりませんが連絡しておきます。

今週は被災一年目で予定が色々入って
きているとの事ですが O さんもある程度形が
見えてきたと元気そうですし、D さんも先日高
橋さんと話し、就労支援をしていく事に積極的
になれたと話されていました。

3/8

朝は寒くなると聞いていましたが、氷点下で
もなく日が照っていたので予想とは違いそれ
ほど寒く無かったです。日中は曇っていて空
模様もあまりよくなかったのですが夕方に少し
雨が降った程度でした。

朝 Y 君送迎をし、その後 A さんの同行で平
成の森にてあずま一れの方と少し話しをし、
仮設商店街「南三陸さんさん商店街」にも立
ち寄り、散髪屋さんをしていた方たちもこちら
で新しくお店を出しているのを確認しました。

平日でしたが、たくさんの方買い物をされて
いるようすと皆さんが知り合いに会うと元気に
挨拶されていてあかるさがありました。Y 君は
2週間ほど前かららしいですが、ここに住んで
いた！や、のりやさんがここにあった！など通
るところでいろいろ教えてくれる。特にこちらか
ら聞いているわけでは、無いし A さんたちも聞
いたわけではないとの事。ようやく1年近くが
経ち、安定して来ているのでしょうか？表情も
よく笑顔でたくさん教えてくれました。

お昼には一度事務所に戻り、13時に「日本
労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会」

登米事務所の方々が来られ、3月末までお給料をもらいながら色々な資格を取ったりして4月から登米にて起業するという方たちで、現在はその4月に向けて模索中。まずは横山仮設にて便利屋をしているとの事であるが、今月中で自分たちも収入が取れるようにしていかなければいけないが、出来れば障害者の方たちと一緒に仕事して行きたいと考えている4名の方が来られ、A型を目標に考えているとの事。今後この登米の拠点を移転して南三陸に行く事を考えている事なども含めOさん達と話される。前向きな気持ちがありOさんたちも自分達もようやくどう動いていくかを決められたのは最近だから、夢と希望があれば大丈夫ですよ！また前向きに協力して行きましようと話される。

その後、SさんのところへOさんと行き顔合わせをし、写真を渡してくれていたの、顔を見てすぐに「やまかわしんじさん」と言ってくれ、お家へ上がり話をしている結構長くなったが、ずっと座って一杯アニメの題名を書いたり似顔絵を描いたりしました。帰るときに玄関を出てSさんと話して振り向いたときに洗濯竿でカメラを打ち、それを見てSさんが大笑いして、その後は車のところまで手をつないでこられて笑いながら、見送ってくれました。

Aさんは明日の細川(細川元総理の奥様)さんへ渡す手紙を手書きしていて、今日は皆さん遅くまで残られていました。本日のNHK福祉ネットワークは何とか見れるように帰りましたが・・・

明日は朝10時過ぎにSさん宅に迎えに行き、登米まで来られます。お昼もお母さんにお弁当を作ってもらい登米にて皆で食べるようにしました。時間的なものも含めて明日はお昼ご飯とカラオケだけになると思います。Sさ

んの送迎は私とAさんで行き、OさんはWさんの通院の送迎でDさんは事務所にて準備の予定です。

明日は少し天気が心配ですが、積もるような事は無いので安心です。Sさんと一緒に楽しく過ごします。



3/9

朝から天気は良く寒くなると言っていたが、暖かった。ただ午後からは少し寒くなってきていたが雪は降らずに少し雨が降ると言う天気でした。

本日は、私とAさんとSさんを登米拠点へ！ドライブには何度も行っているの、往復については、トイレの心配をされていましたが、行程と休憩をしっかりと把握されていて、全く問題なく道中は、車に乗ってすぐは少し緊張しているのか、「しんじさん」「Yさん」と2度ほど言われるが、その後は少しのんびりと外を見ながらされていて、車が止まるとトイレの提示もなく「トイレ」とすぐに降りられる。途中のローソンでは、ドラえものの映画の広告をジッと見ながら、「アドベンチャー」と笑顔で話される。他には孔雀の泣き声や狐の鳴き声を教えてくれる。

登米(県北支部)に来てすぐに各扉を確認しながら「入れません」と言われ扉に手をかけるが開けられないで、「カラオケ」と「お昼ごはん」と書いている所を見てカラオケの部屋に行こうとするが、トイレのカードを見せるとトイレに先に行きそのあとカラオケ部屋へ入り1時間ほど楽しむ。がカラオケは動画が無くアニメソングも少なくあまり反応が無かったので、iPadのYouTubeに切り替えると楽しそうに次々とリクエストが入り、一緒にマイクを持って歌われる。視覚的にも楽しめるYouTubeの方が良いようである。その後、お母さんに作ってもらったお弁当を皆と一緒にお昼ごはんを食べる。聞いていたようにやはり一気に口に入れる所もあるが、1つずつ食べるようにAさんが促すと、最初はそのようにしているが、ご飯はどんどん食べられる。次回(13日火曜日)は、皆と一緒にスーパーでお弁当を買い同じものをお皿に小分けしてご飯も小さく小分けしてゆっくり食べられるようにしていただきます。その後はまた小一時間iPadの



YouTubeで楽しまれ、帰路に着く。集中できるものがあつた事や、スタッフが3人で必ず関わっていた事もあると考えられるが、しっかりと関わっていれば何も問題ないのとかかわり方

も、言葉でなくカードなどで提示する事で全く大丈夫である。

今日の事でAさんとDさんは大丈夫ですとも話されていたのと、みなさんSさんから教えてもらおうと言う姿勢や何故そうなるのか失敗から経験していこうと言う言葉も出ているので頼もしい限りでした。

細川さんとは、私は会えませんでしたがおさん・Dさんが会えて、予想以上に長く滞在してもらいたい事をたくさん言えたと聞いています。それまでに作成していたお手紙もあわせてお渡ししてお二人ともすごく良い表情です。気仙沼のオレンジネットを一度見学に行ったら良いですよ！と話してもらったようです。

明日は、朝K君のレスパイトで午後からこちらの社協交流会があり同席させていただきます。明後日の日曜日にはこちらでは慰霊祭がありますが、各地区で行うのとアリーナでもあるが、駐車などが難しいとの事とあり、仙台で「センターみやぎ」の全体報告会があり各方面からボランティアの方々も集まるとの事でこちらへ土曜日にKさんと一緒に仙台に入り同席させていただく事になりました。

追記

Aさんと話していて今自分たちが欲しいのは人的支援ですとの事。例えば、お茶っこしたくても今までは幾つかの家で気軽にしていたが今は仮設でそんな事も行かないし、各家庭で事情が違い「いいよね、あんたは仕事があるから・・・」など誘っても言いようにとってもらえないかも知れないとかがあり、地元の人が先頭に立ってやって行かなくてはいけないのは分かっているが、なかなか声を掛けにくいのが現状。

ボランティアの人が声掛けしてくれるとせっかくきてもらっているのだからと集まりやすいなどがあるという事や、本当は60歳前後の方々が先頭にたって動いてくれると良いのだが、今まで散々働いてきたからゆっくりしたいわと思っているので中々出ないがその人たちも地元以外の方が誘ってくれたりする事で動かれる事などを話される。実際にこれからの活動については、特に人との関わりをしていくボランティアが必要だと考えさせられました。



3/10

本日は昨夜から小粒の雪が降っていて道路は積もっていませんでしたが周りは少し積もっている状態でした。少し寒くなっています。

朝K君レスパイトに行ってきました。志津川に入ると雪の粒が大きくなりましたが、道路は積もることなくいけました。K君は着くとすぐに玄関から出てこれ、おはようございます！と挨拶するとすぐに腕をつかまれ車に乗られる。いつものCDは壊れたという事で、ミッキーマウスのおもちゃで音楽や太鼓の音が鳴るものを持っておられ、最初はそれを聞いていましたが、iPadを持っていったので音楽が日入っているものだけですがまずは良く聞いていると言っていた「猪木ボンバイエ」を流すとすぐにテンションが上がって楽しそうに体を揺さ

ぶられる。その後は幾つかの音楽を流すが気に入らないとか、面白くないものだと私の手を取りiPadに触らせて変えて欲しいとアピールされる。今日一番気にいって何度も聞かされていたのが「ドラえもののうた OP」で曲が終わり最初は他の曲にすると同じようにすぐには手を取り変えるように催促され、その後は「ドラえもののうた OP」を繰り返し聞いて満足げに耳にあてている。最初はiPadを離そうとしなかったが、こちらに渡してくれないと変えたりかけたり出来ないよ！と伝え、その都度手と言葉で伝えると後半には終わりかけると、こちらに合図して用意して終わるとすぐに渡されるようになる。

他には、ジュース飲む？と聞くと手を上げて合図されるようになっている。あわせて、トイレ休憩に行ったときも時間が短く行こうとされなく雪も降っていた事も有り、最終的にトイレ行かないの？と聞くと手をあげて合図される。まだ、短い時間だけのレスパイトなのでドライブのみではあるが、その中でも少しずつ彼の意思表示が伝わるように取り組んでおられるし、今後関わっていく中でK君と一緒に考えて取り組む事によって色々な事ができるようになっていくと感じました。

3/11

本日は、仙台市内で朝を迎え雨はやんでいたが曇り空でした、午後からは少し陽射しが射してきましたが、あいにくの曇り。「被災地障がい者センターみやぎ活動報告会 ありがとう。そして、これから」というイベントに参加させていただきました。

昨日は、登米にて登米市内支援団体・ボランティア交流会にもご一緒させていただき、東京災害ボランティアネットワーク・RQ・つなぶ

ロ・ユナイテッドアース・め組ジャパン・ぐるっと・みやぎ登米市災害ボランティアハブセンター・人間の安全フォーラム・RQ被災地女性支援センター・さくらんぼくらぶ・貴いちご・登米市青年団連絡協議会などたくさんの団体が来られていたのと、登米市役所の方も来られていて、県北支部にとっても良い出会いが幾つもあったと思います。その後も喫茶店をやっているが、震災以前は障がい者の方が気軽に食べにきてもらえるようにしたり、作業所の方たちに外出行事の一環で来てもらったこともあり、震災時には各避難所へコーヒーを入れに行ったり個人的に動かれていた方が帰りにお寄り頂き、そういった形ででも障がい者の方たちに、親御さんと一緒でも良いので是非食べにきてもらい寛いでもらいたいと話に來られました。

今後、レスパイトの際にも使わせてもらえるのと簡単なライブなら出来るので、そういった催しにも使ってもらって少しでも自分なりに支援をしていきたいとも話されています。

今日の報告会では、今まで関わってきた方もたくさん来場され今までの報告と現状の各支部での状況などを報告されていました。

今は雪が降り少し積もってきていますが明日はやむと思われれます。朝雪が積もっていて動きが取りにくいかもしれないので気をつけて動きたいと思います。明日はK君とKさんの送迎です。

3/12

今日は朝少し雪が降りましたが、天気も良くこちらに来て初めての晴れた一日でした。今日は、K君とKさんの送迎でK君は「ボランティアさんが一緒！」と笑って出会い、そのまま車に乗ってWiiのマリオカートが好きだと言

う事や、そのコースで好きなコース・キャラクターのことなど話しながら帰り、自宅ではお母さんがNHKの話で、Aさんと盛り上がっていました。KさんもNHKの話でAさんと盛り上がり、その後はM園に訪問治療に来てくれるようになった事を喜んで話されるが、他に今はワカメの一番忙しい時期で、自分が出かけるときはもういない事や、夕方もどっちが早いかぐらいの差である事などを教えてくれました。扉も自分で閉めるから「大丈夫ですよ」とも話される。少しさびしい事を伝えていたようにも取れるので、Aさんと少し話すとやはり、一人でいたくない事をそういえば以前にも話していたと聞き、親の都合で休む事があり、本人は一人でいたくないから行けるなら行きたいと話していたの事。これからどう関わっていけるかだが、少しでも本人がいけるようにしていきたいと話す。

明日は、Sさんに再度登米に来てもらう日です。前はAさんとOさんが会えていないのですが今回はOさんと同行。ただ、センターの都合(他の予定が先に埋まっていて身動き取れない状態)で次が21日(水)まで空いてしまいますが、その次の週には、火・木と行きそのまま毎週火・木で動けるようにしていけばいいですねとは話しています。大丈夫ですよという言葉とは裏腹にどうしようという不安があり迷っている部分があるようですが、明日と21日で定着できればと考えています。(その後も中西さんの時に2回いけるので)

追伸

本日夕方登米で在宅障害者の方に向けて個人的に有志で動かれている方達(サンフrawー・サポート・エイト会)が来客され4月22日(日)に先日の交流会の会場で家族の方達も

含めて花見もかねて「花と緑のふれあいトーク」という会を催すので南三陸の方達にもお声掛けて来てもらって下さいとの事。今まで中々他の地域の方の事が分からなかったですが、今回交流会で知り合い是非これからも協力できる事があったらやっていきましょうと話される。

3/13

今日は寒くなるように聞いていましたが、登米は晴天に恵まれすごく暖かい一日でした。仙台ではふぶいていたようですが・・・

Y君の送迎とSさんを登米にてレスパイトを合わせて動きました。時間的にY君を送りそのままお迎えに行けばよく、帰りが少しY君の迎えが遅れるかもしれないので、作業所へは朝送ったときに話をしておき初めて動いてみる。帰りの送迎の際は本吉経由にする事によって混む事もなくスムーズに行き時間通りに

送迎も完了する。

Y君は、車がいつものビッツではなくノアですぐに乗らず助手席に乗ろうとしたりもしたが、先にOさんが乗車する事でスムーズに乗る。車内ではラジオ番組の説明をされ時間が来ると違う局1260Hz(TBC)に切り替えてくださいと伝えて変更すると「ありがとうございます」とも言われる。

Sさんは、お迎えに行くと楽しみに待っていた様子ですでに玄関口に居り、しんじさん！ふさえさん！と先日よりも少し大きな声で呼ばれる。坂を下りるのも少し早足になっている。道中は先日同じルートで車中でのんびりされている。

登米では、まずWiiのゲームをして過ごすが内容的に操作がしにくかったようで、いまひとつ楽しくない様子で「違うの！」とコントローラを置いたりして違うゲームが始まるとまた持つがすぐにまた「違うの！」となる、30分ほど



で「キューティハニー」と何度か言われるのでiPadに切り替える。やはり今はiPadが気に入りで、楽しめる。

お昼ごはんは、ウジェスーパーで先にご飯を買ってきて、ご飯は一口大にしておき皆で一緒に食べる。「なくなってから」と言うカードを用意し食べだしたときに提示する事と合わせて、昨日よりもゆっくり食べる。一緒に食べながら、前によく噛んでいるジェスチャーをすることで噛まれる。全て食べ終わり割り箸で食べたので最後に半分に折って置く。それで立ち上がろうとするが、こちらを見て手を合わせていると同じように手を合わせ「ごちそうさまでした」と言ってから立ち上がり、iPadの部屋に行く。曲の終わりにトイレと提示するとすぐにトイレにも行かれる。最後までドライブと提示するとドライブと言って帰る用意(ジャンパーを着て靴を履く)をする。

今日の登米での写真と小分けしたお弁当の

写真を添付しておきます。帰りも前回と同じルートを通るトイレ休憩は様子を見ながら一回にするが問題なし。帰りの車の中では、笑顔多く思い出し笑いもしたりと楽しく帰られる。

楽しそうにされているときの笑顔が本当にいいです！最初のときの出会いの際、私が物干竿で頭をぶつけたのを覚えてくれていて、今日も「あいててててて」と言って頭のところを撫でてくれたりしながらすごく笑っていたりもあり、明日帰るのが寂しいです。

今回は丁度一年でOさん・Dさん・Aさんもこれからについて考えている時で、更には障がい者の方達も心に動きがあり、今までしていなかった事や話されていなかったことが聞けたりした。本当に沢山の思いがありまだまだこれから沢山の力が必要だと感じた。本当にあつという間でしたが、明日帰ります。





この写真は南三陸町ホームページ、佐良スタジオ様、そうそうの杜スタッフ撮影のものです。

によっさり！第一号

被災地障害者センターみやぎホームページ (<http://blog.canpan.info/tasuketto/archive/743>) より

pdf版をダウンロードできます。掲載は2ページのみですが、続きもありますので気になる方はぜひ！



1号 無料
2012年3月1日発行
この誌面は「街も僕らもこれからによっさり伸びていく」そんな思いで作っています。ぜひご覧ください！

伊勢知那子×阿部俊介×石森祐介 → 未来

★石巻在住の伊勢知那子さん・お母さんと、石巻支部の当事者スタッフ阿部・石森が、対談しました。

「みんなとの生活から これからの青春へ」



伊勢知那子さん
重度重複障害児。医療的ケアを受けながら、公立学校に通っている、中学3年生。石巻市在住。

伊勢：そんなこと無いよ。頼りになるのはやっぱり男の子だ。

阿部：伊勢さんは、石巻でどのような活動をされてましたか？
伊勢：お姉ちゃんたちが普通に幼稚園や小学校に行っていた時に、知那子が、1歳になる前に後天的に重い障害を持って生きているということが、生活の中に突然現れてきました。いろんな障害を持っている先輩のお母さん方や、医療や福祉の関係者の方と話をさせて貰って、将来を考えました。自宅がある湊の人と関わりを持って生きていけたらいいな、幼稚園もお姉ちゃんたちが行った公立の幼稚園や小学校に行かせたいなど。自分が何かをやるというよりも、それまで関わってきた人たちと活動を一緒にしたり、声掛けられたり。願いが叶って地元の小学校に入って、自分たちが思い描く生活が出来たのね。

阿部・石森：なるほどー。
阿部：知那子ちゃんは普通学級では、実際にどうやって登校したり授業を受けているのですか？

伊勢：登下校は地域の近所の学校に行くからみんな自力登校。寒い日は車いすでは難しいけど、暖かければ車いすで行けます。なので、気候の良い日は歩いて。

石森：だいたい学校までは何分ぐらい？
伊勢：小学校だとね、徒歩で5、6分で着いちゃうし、中学校はちょっと遠くて10分ぐらい。

阿部：それはお母さんが、毎朝？
伊勢：そうです。小学校の時は私が準備をしてたら、お姉ちゃんたちが知那子を連れて登校しちゃった事があったの。後で学校の先生に「お母さん、姉妹だけで登校するのは止めてください」と言われたの。それだけは、って(笑)。登校中も周りの子供たちが寄ってきて団子になって、私が押す私が押す、みたいなこともあるのよ(笑)。

石森：人気者だったんですね(笑)。
伊勢：登校時間は極力、みんなと同じ時間帯に行く努力をしています。特

別扱いしないで出来る努力はする。そうするとみんなもそれを認めてくれるんだよね。

石森：私の場合は、小学校から高校にかけては学校まで行くのに親に乗っけられて登校したんで。今思うと、行ける時はもっと(一人で)行くように心がけるべきだったなど反省。今使っている電動車いすが使えていたら、小中学校は自力で通えたかもしれません。とくに高校時代は、学校帰りに友達と遊びに行くとかっていう活動をしてこなかったんで、楽しかったけれど心残りでもあります。

伊勢：なるほどね。じゃ、それをこれからどんどん行動して発信していけば良いよね。

石森：私よりもずっと知那子さんやお母さんが周りに入って行こうという気力がある。

伊勢：小学校で6年間学んだ子が同じ中学校に行くじゃない。小さい頃から一緒にいるから、知那子の学習ってなんだろうってことを、新しい中学校の先生よりも子供たちの方がわかっているんだよね。たとえば、古典の響きを聞いてふっと笑う、とか。数学もね、つまんないんだけど、数学の担当の先生の声が好きで姿勢よく聞いている。うなだれないでさ。首も座ってないから本当はきついんだけどね。それを見て、小学校から一緒に学んできた子供たちが、姿勢よく頑張ったねって言うの。姿勢よくすることが知那子の学習だって知ってる。意識を高めていくとか、授業中はちょっと緊張感持って頑張るぞってのが、知那子の勉強だから。

阿部：授業中は知那子さん一人で教室にいるんですか？
伊勢：知那子の場合はベースが普通学級なの。学習支援室に必要な日常生活の指導とか関節の運動とかをしに行く。みんなにいつてらっしゃいって送りだされるの。

阿部：看護師さんが付いているってわけじゃないんですか？
伊勢：たん吸引や経管栄養は医療行為と言われるものだから、看護師さんが一日4時間ついてる。

阿部：たん吸引はどのくらいの間隔で？
伊勢：1時間に1回くらいかな。多い時は多いんだけど。まだ、医療行為は看護師・医師・もしくは親しか出来ないってことになってるんで。4月から制度が変わるので、ますます活動範囲は広がるかなって。

阿部：行けるところが増えればいいですね。
伊勢：そうだね。親と離れて活動の場が増えればいいなど。

石森：そうすると、知那子さん本人としての世界が広がるし。
伊勢：まだまだ先のことだけど、親亡き後のことも考えていかないと。

石森：そうなったときに、周りに支えてくれる人が居るってのはすごくうれしいことですよ。やっぱり地域のつながりが一番だと。今日はありがとうございました。



石森祐介
脳原性麻痺による運動機能障害。26歳。東松島市在住。



阿部俊介
23歳で抗リン脂質抗体症候群を発症し、左半身麻痺。29歳。石巻市在住。





こんにちは！被災地障がい者センターみやぎです！！

石巻支部



石巻支部は、現在、障がい者スタッフ2名と事務員1名、ボランティア1名で活動しています。

石巻支部の事務所が開所したのは、平成23年10月1日。それまでは、石巻市内の仮設住宅を回ってセンターみやぎの活動をお知らせするチラシを配ったり、市内のショッピングセンターで石巻の障がい者・者の家族や関係団体の方々と懇談するといった活動を行っていました。

事務所ができてからは、まずごあいさつの意味もこめて、事務所の周辺のお宅一軒一軒にチラシのポスティングを行いました。また、定例会議と称して、地元の関係者の方々が集まって、意見や情報を交換する場を設けています。その他、震災で活動拠点を失った団体に会合の場所を提供

するなどの協力もしています。11月には、石巻支部の関係者、スタッフの被災体験や活動報告をまとめた冊子を作りました。被災地の障がい者やその家族の生の声に対して大きな反響がありました。また、震災を経験した障がい者の話を聞きたいという要望は多く、東京、大阪、福井、横浜で、それぞれの体験を語りました。

そして、新たに始まった活動は、「にょつきり」の作成です。障がい者スタッフの二人が、石巻の街中を車いすで歩き、さまざまな店を取材しています。震災で甚大な被害を受けた石巻ですが、少しずつ復興の兆しが見え始めています。そんな街の様子を、自らの復興を模索中の阿部&石森が、街の人達とのつながりを築きながら、障がい者の目線でお伝えしていきます。皆さんに楽しく読んでいただけるような情報誌を目指して、がんばります。

手探りで始まった石巻支部の活動。まだまだ手探りは続きますが、ぼちぼちやっつけようと思えます。よろしくお願います。

県北支部

昨年12月中旬、大阪府豊能障害者労働センター様より、カレンダー100本を頂きました。この100本をどう捌こうか・・・今まで関わりを持っていたすべつの方に届けよう！と、今まで出会った方々のケースを拾ってみたら、ざっと94件！カレンダー100本をこうしてケースを拾っているうちに、今までの活動を振り返る事になりました。

震災当初は、仙台の本部から3時間ほどかけて南三陸町に入り、6月中旬からは登米市中田町に事務所を構え、県北支部が発足。南三陸町を中心に、障がい者を持つていの方で不便な思いをされている方はいないか、困っていることはないか、と夢中で走り回りました。避難所や仮設住宅を中心にチラシを配り、ニーズを拾う地道な活動から始まり、現在はそのニーズに応えるべく活動しております。

被災地のニーズは、作業所に通う手段がない、病院へ行きたいがJRの代替バスや町の巡回バスの時刻が合わず通院できないなど、移送に関するものが最も高く、他にも日中預かり、見守り、レスパイト、引越しの手伝い、物資の支援など、多種多様になっていま

す。スタッフだけでは出来る事に限界があるため、今までの述べ人を超える多くのボランティアの方々に支援していただきました。

県北支部スタッフは10月より3人体制となり、研修会に参加したり、福祉有償運送サービル講習の受講、ヘルパ12級を取得するべく仙台通いをしたりして、スキルアップを目指し日々努力しております。そして身につけたものを地域に還元できたらと思っています。

県北支部スタッフは南三陸町民でみな被災し、大切な家族や多くの友人知人を亡くしており、被災地、特に南三陸に対して強い思いを抱いております。復興はまだまだ先です。ゆっくりじっくり確実に出会った方々に寄り添い、私達だけでなく、地域のみならず、考えていけたらと思っています。





その人はお、街を歩いていると酔っ払いの人にはからませたり
勧誘の人に声をかけられてそのままついていっちゃったり……

度々そんなことがあったんだって。

『なぜか私、人によく声をかけられるの。』ってその人は言っていたけど、
けどお、知らない人についていっちゃ〜ダメだよお。

でも、その人といっしょに歩いていたとき、ぼくはふと気づいたんだ。

そおはお…… 歩き方!

うっむいてて、そおに身体に力が入ってるもんだからロボットのように歩いてるんだよ。

時には幽霊のようにユ〜ラユ〜ラとあやしい歩き方。

『ロボットでもないし幽霊でもないよ』ってその人は言っていたけど

だってそおくらいあやしいんだもん。

そりゃ〜声をかけられやすいお。からませやすいよ。

自分の世界に入り込んでいるから歩き方までそおが出てしまうおけ。

だからお。僕はその人に美しい歩き方を伝授したの。

その① うっむかず、しっかり前を向くこと

その② 自分の世界に入り込まないこと

その③ 腕をふって足を出してリズムよく、元気よく

その④ 誰にも声をかけられないう〜~~~~っていう全身からのオ〜ラをだす

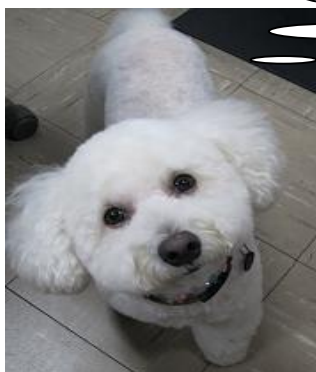
その後、その人は…なぜか水前寺清子さんの

【365歩のマ〜干】が頭の中で流れてて、そのリズムに合わせて歩いているんだって。

♪ワニ・ツ〜ワニ・ツ〜♪ 休まないで歩け〜♪

♪ワニ・ツ〜ワニ・ツ〜……♪

賛助会にご協力お願いしますっ！



賛助会員の皆様、ご協力いただきましてありがとうございました。
なお、賛助会費を御振込いただく場合は下記の郵便振替口座に
お振込み願います。

一口：2,000円

振込先(加入名):そうそうの杜

口座番号:00940-5-185986

賛助会費（平成23年9月8日～平成24年2月25日にご支援いただいた方）

寺脇 靖二	大蔵 幸二	中井 保	吉岡 信二	東川 裕司
福本 弘子	中村 洋子	松本 アサノ	野間 満典	壮菜屋
中島 昌子	津田 賢二	平原 朱美子	岡本 彩	山田 悦子
岡本 民子	高橋 靖	高橋 雅人	山内 徹	吉川 雅子
中村 正	倉川 晴子	林 登喜子	山根 豊	飯田 靖子
桜本 房子	來山 秀子	栗田 力	井上 博司	角 節子
山本 元司	山本 昭代	金澤 詠子	富吉 富美恵	神田 昭次
山川 覚之	岡崎 義昭	小野 峰子	なにわ観光	濱崎 真久

(敬称略、順不同)

一般寄付（平成23年9月8日～平成24年2月25日にご支援いただいた方）

ヤマワキ商店	高津 和美	吉見 重則	竹本 伊津子	春本 静良
(株)ペアグ	山本 大助	曾谷 幸子	池田 勉	(株)阪神防災設備
大信土地建物	広田 幸治	城東地区民生委員会		(敬称略、順不同)

その他、地域の方々に牛乳パックや様々な物品等、ご寄付を頂いておりますことを
心より感謝申し上げます。

社会福祉法人 ^{もり} そうそうの杜

大阪市城東区鳴野東3丁目18-5

Tel : 06 - 6965 - 7171 Fax : 06 - 6167 - 2622

ホームページ : <http://www.sou-sou.com> E-mail : sou-sou@gol.com

地域生活支援センターあ・うん 相談支援事業 居宅介護支援事業

とことこと 居宅介護・重度訪問介護・移動支援

住所、連絡先は法人本部と同じ

庵げんげん 生活介護

(主)大阪市城東区中央 1-6-23(庵)

Tel/Fax 06-6935-0909

(従)大阪市城東区蒲生 3-11-10 マサキビル 1F(げんげん)

Tel/Fax 06-6935-1727

伝 児童デイサービス

大阪市城東区蒲生 3-11-10 マサキビル 2F

Tel/Fax 06-6930-6540

創奏座座 就労移行支援・就労継続支援 B 型

(主)大阪市城東区中央 1-7-27(創奏)

Tel/Fax 06-6935-3794

(従)大阪市城東区鳴野西 4-17-23(座座)

Tel/Fax 06-4258-6013

つむぎ館 就労継続支援 B 型

大阪市城東区関目 1-14-21

Tel/Fax 06-6933-7269

今福事業所 就労移行支援・就労継続支援 B 型

大阪市城東区今福西 6-3-8

Tel/Fax 06-6933-0737

想縁綾 ケアホーム

大阪市城東区内3ヶ所

添 短期入所施設

大阪市城東区鳴野西 5-18-13

Tel/Fax 06-6965-1235

大阪市つどいの広場事業 だんだん

大阪市城東区中浜 3-22-9 ラシーヌ中浜 1F

Tel/Fax 06-6961-5505

30号の編集も無事完了しました。私が編集になってから初めて、年度内に四回の発行です。H23年度は多くの人にとって特別な一年になったことと思います。そうそうの杜としても例年とは異なる一年になったのではないかと思います。3.11や年度の切り替わりを一つの気持ちの区切りにできる人、できない人、それぞれだと思いますが、それを区切りにして忘れてしまうということがないように、気持ちはいつでも繋がっているように日々を過ごしていかなければと考えています。出会いと別れの季節ですが、その一つ一つを大切にしていきたいところです。(は)

